

大谷一号墳 (おおやいちごうふん) 県指定史跡



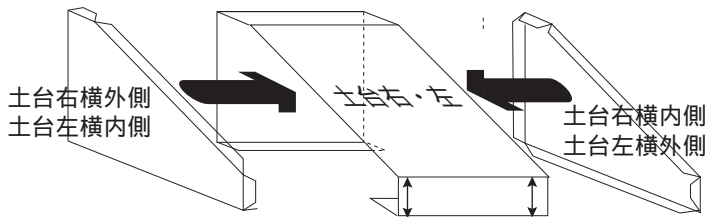
北房町上中津井南西部の山頂付近に位置する大谷1号墳は、見通しの悪い傾斜に独立して造られた切石積みの横穴式石室（南に開口）を有する7世紀後半の方墳です。

198年に大谷1号墳発掘調査団によって発掘調査が行われました。この墳丘は、全国的にも例のない五段積みの様式を採っており、過去の発掘例では、天皇クラス以外には見受けられません。

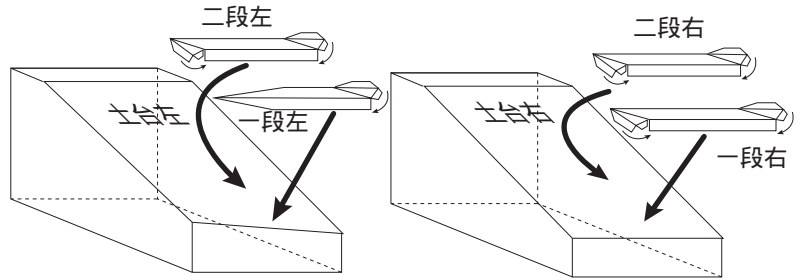
石室内から、須恵質四注式家形陶棺と、木棺に伴うものと考えられる鉄釘が発見され、副葬品は、玄室の奥壁に接して発見されたものとして、双竜環頭大刀（そうりゅうかんとうたち）、斧状の金銅製品、鉄斧の計3点、木棺の部分からは鉄鏃1点、玄室の攪乱土中からは須恵器（坏・甕・壺など）の破片が出土しています。金銅製品や双竜環頭大刀などの副葬品等を考えあわせると、被葬者は大和政権と深く関わりのあった高位の人物ではないかと考えられ、吉備大宰石川王ではないかともいわれています。

また、この復元作業は地域住民と学者が一体となって作業を行い、第二の月の輪であるといわれています。とりわけ、地元中津井小学校の生徒達が河原の石を一つずつ運び、化粧していった事は特筆するべき事です。

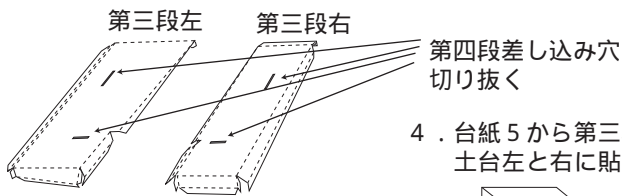
1. 台紙 1、2 から土台右と、土台右横外側と土台右横内側を切り取り、のり付けする。
同じように土台左横外側と土台左横内側を土台左に貼り付ける。土台左は、のりの高さが左右で違うので注意する事。



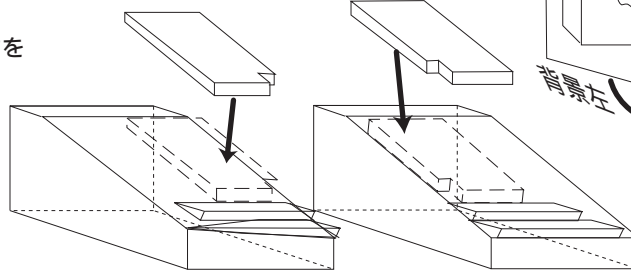
2. 台紙 1 から一段左、二段左を、台紙 2 から一段右と二段右を切り取り、土台左と右に貼り付ける。



3. 台紙 5 から第三段左と第三段右を切り離し、組み立てる。

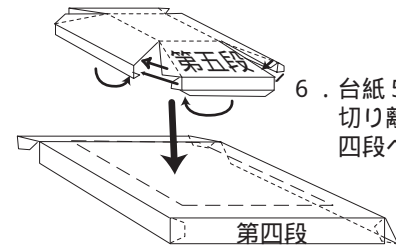


4. 台紙 5 から第三段左と第三段右を土台左と右に貼り付ける。

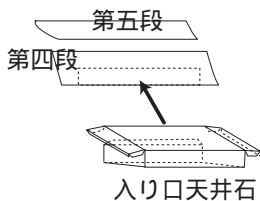


5. 台紙 4 と 6 から背景左、背景中、背景右、背景前を切り抜き貼り付ける。

6. 台紙 5 から四段と五段のパーツを切り離し、組み立てる。四段へ五段を貼り付ける。



7. 第四段ののりしろに 入り口天井石を貼り付ける。



8. 土台に四段を差し込む、差し込むだけで接着しない。台紙 4 から銘板と銘板支えを切り取り好きな位置へ貼り付ける。
9. 土手を台紙 6 から切り取り、土台に貼る。作業が複雑になるので、この工程は省いてもよい。

